

List of the Material for I.D.S

1. Japanese Patent Laid-open Gazette 24331/ 2002

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-024331

(43)Date of publication of application : 25.01.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
B09B 5/00

(21)Application number : 2000-208924

(71)Applicant : NEC GUMMA LTD

(22)Date of filing : 10.07.2000

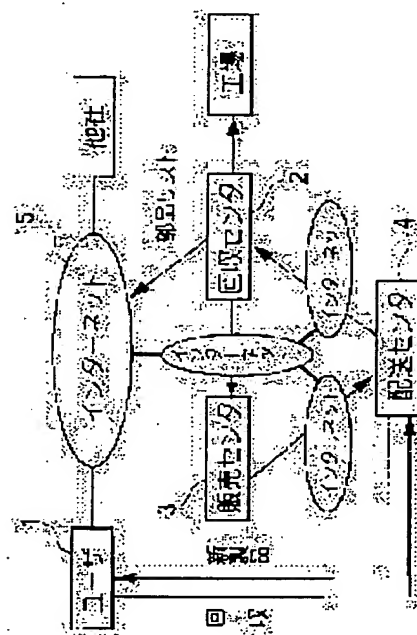
(72)Inventor : SAKAGAMI TAKAYUKI

(54) SYSTEM AND METHOD FOR TRADING IN PRODUCT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a product trade-in system for efficiently collecting old products.

SOLUTION: The product trade-in system is provided with a sales center terminal 3, a collection center terminal 2 and a delivery center terminal 4, which are connected to a network 5. When purchased article data and trade-in article data are transmitted from a user terminal 1 to the collection center terminal, the collection center terminal returns the cost of a purchased article, the appraisal of a trade-in article and a user paying amount being the difference to the user terminal. When an order signal is transmitted from the user terminal to the collection center terminal, the collection center terminal transmits the order signal, purchased article data and trade-in article data to the sales center terminal. The sales center terminal transmits a delivery request to the delivery center terminal. The delivery center terminal specifies the article ordered by the user, the delivery destination of the article and the trade-in article based on the received delivery request.



(11)特許出願公開番号

特開2002-24331

(P2002-24331A)

(43)公開日 平成14年1月25日(2002.1.25)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

FI

テーマコード(参考)

G O 6 F 17/60

106

G O 6 F 17/60

106

4 D 0 0 4

B 0 9 B 5/00

ZAB

B 0 9 B 5/00

ZABM

5 B 0 4 9

審査請求 未請求 請求項の数4 O.L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-208924(P2000-208924)

(22)出願日 平成12年7月10日(2000.7.10)

(71)出願人 000165033

群馬日本電気株式会社

群馬県太田市西矢島町32番地

(72) 発明者 坂上 隆之

群馬県太田市西矢島町32番地 群馬日本電
気株式会社内

(74) 代理人 100108578

弁理士 高橋 詔男 (外3名)

Fターム(参考) 4D004 DA16

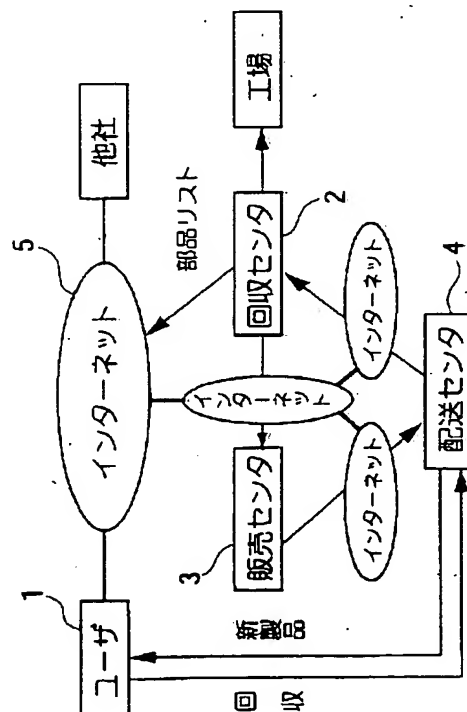
5B049 BB07 CC00 CC11 FF01 GG02

(54)【発明の名称】 製品下取りシステムおよび製品下取り方法

(57) 【要約】

【課題】 旧製品を効率よく回収することが可能な製品下取りシステムを提供する。

【解決手段】 製品下取りシステムに、ネットワーク５に接続された販売センタ端末３、回収センタ端末２、配送センタ端末４を設け、ユーザ端末１から回収センタ端末へ購入品データと下取り品データとが送信されると、回収センタ端末は、購入品の価格、下取り品の査定価格、これらの差額であるユーザ負担額をユーザ端末へ返送し、ユーザ端末から回収センタ端末へ注文信号が送信されると、回収センタ端末は、発注信号、購入品データ、下取り品データを販売センタ端末へ送信し、販売センタ端末は、配送依頼を配送センタ端末へ送信し、配送センタ端末は、受信した配送依頼に基づいて、ユーザが注文した製品、製品の配送先、下取り品を特定するように構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークに接続されたユーザ端末を介して製品を購入しようとするユーザが利用可能な製品下取りシステムであって、

製品を製造販売する製造業者が運用する、製品を販売するための販売センタに設けられた販売センタ端末と、前記製造業者が運用する、下取り品を回収するための回収センタに設けられた回収センタ端末と、

前記製造業者が運用する、前記ユーザから注文された製品を配送するための配送センタに設けられた配送センタ端末とを有し、前記販売センタ端末、回収センタ端末、配送センタ端末がネットワークに接続された製品下取りシステムにおいて、

前記ユーザが製品を購入しようとする場合、前記ユーザが使用するユーザ端末がネットワークを介して回収センタ端末に接続され、

この回収センタ端末は、ユーザ端末へ、ユーザが購入しようとする製品に関する購入品データと、ユーザが下取りに出そうとする下取り品に関する下取り品データとを要求するデータ要求信号を送信し、

前記ユーザ端末から回収センタ端末へ、前記購入品データと下取り品データとが送信されると、回収センタ端末は、購入品データと下取り品データとに基づいて、購入品の価格、下取り品の査定価格、これらの差額であるユーザ負担額を算出し、算出したユーザ負担額をユーザ端末へ返送し、

前記ユーザ端末から回収センタ端末へ、製品を注文することと、注文した製品の配送先との情報を含む注文信号が送信されると、回収センタ端末は、この注文信号に応じた発注信号と共に、前記購入品データ、下取り品データを販売センタ端末へ送信し、

この販売センタ端末は、前記発注信号、購入品データ、下取り品データを受信すると、受信した発注信号、購入品データ、下取り品データに基づいた配送依頼を配送センタ端末へ送信し、

この配送センタ端末は、前記配送依頼を受信すると、受信した配送依頼に基づいて、前記ユーザが注文した製品、製品の配送先、下取り品を特定することを特徴とする製品下取りシステム。

【請求項 2】 前記回収センタ端末がユーザ端末へ送信するデータ要求信号は、前記購入品データと下取り品データとを入力可能なホームページをユーザ端末に表示させる信号であることを特徴とする請求項 1 に記載の製品下取りシステム。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 に記載の製品下取りシステムが有する配送センタ端末が、前記配送依頼を受信し、受信した配送依頼に基づいて、前記ユーザが注文した製品、製品の配送先、下取り品を特定すると、前記配送センタ端末が設けられた配送センタにおいて、特定された製品が配送先へ配送されると共に、下取り品

が回収されることを特徴とする製品下取り方法。

【請求項 4】 前記配送センタ端末が設けられた配送センタにおいて、特定された製品が配送先へ配送されると共に、下取り品が回収されると、

回収された下取り品が前記回収センタへ送られ、この回収センタにおいて、前記下取り品が部品に解体され、解体された部品のリストが、この回収センタに設けられた回収センタ端末に入力され、この回収センタ端末およびネットワークを介して前記部品が販売されることを特徴とする請求項 3 に記載の製品下取り方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、製品を製造販売する製造業者が、インターネット等のネットワークを介して新製品の販売を行うと共に、下取り品すなわち旧製品を回収する製品下取りシステムおよび製品下取り方法に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、地球環境の保護が叫ばれ、廃品を回収して再利用することが重要視されるようになってきた。このような状況の中で、通産省方針で、2001年1月より、自動車やパソコン等の14種類の製品について、使用済み部品を新製品に組み込んで再び使用することや、余分な部品を使わない省資源化設計を採用することをメーカ（製造業者）に義務づける政令が定められる予定である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが現時点では、メーカにおいて下取り品すなわち旧製品を効率よく回収する制度が確立されておらず、旧製品を効率よく回収することが困難であるという問題がある。

【0004】本発明は、上記の問題を解決するためになされたもので、旧製品を効率よく回収することによって、上記の政令を遵守しつつ、収益性の拡大をはかることも可能な製品下取りシステムおよび製品下取り方法を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項 1 に記載の発明は、ネットワークに接続されたユーザ端末を介して製品を購入しようとするユーザが利用可能な製品下取りシステムであって、製品を製造販売する製造業者が運用する、製品を販売するための販売センタに設けられた販売センタ端末と、前記製造業者が運用する、下取り品を回収するための回収センタに設けられた回収センタ端末と、前記製造業者が運用する、前記ユーザから注文された製品を配送するための配送センタに設けられた配送センタ端末とを有し、前記販売センタ端末、回収センタ端末、配送センタ端末がネットワークに接続された製品下取りシステムにおいて、前記ユーザが製品を購入しようとする場合、前記ユーザが使用するユーザ端末がネット

ワークを介して回収センタ端末に接続され、この回収センタ端末は、ユーザ端末へ、ユーザが購入しようとする製品に関する購入品データと、ユーザが下取りに出そうとする下取り品に関する下取り品データとを要求するデータ要求信号を送信し、前記ユーザ端末から回収センタ端末へ、前記購入品データと下取り品データとが送信されると、回収センタ端末は、購入品データと下取り品データとに基づいて、購入品の価格、下取り品の査定価格、これらの差額であるユーザ負担額を算出し、算出したユーザ負担額をユーザ端末へ返送し、前記ユーザ端末から回収センタ端末へ、製品を注文することと、注文した製品の配送先との情報を含む注文信号が送信されると、回収センタ端末は、この注文信号に応じた発注信号と共に、前記購入品データ、下取り品データを販売センタ端末へ送信し、この販売センタ端末は、前記発注信号、購入品データ、下取り品データを受信すると、受信した発注信号、購入品データ、下取り品データに基づいた配送依頼を配送センタ端末へ送信し、この配送センタ端末は、前記配送依頼を受信すると、受信した配送依頼に基づいて、前記ユーザが注文した製品、製品の配送先、下取り品を特定することを特徴とする製品下取りシステムである。

【0006】請求項2に記載の発明は、前記回収センタ端末がユーザ端末へ送信するデータ要求信号は、前記購入品データと下取り品データとを入力可能なホームページをユーザ端末に表示させる信号であることを特徴とする請求項1に記載の製品下取りシステムである。

【0007】請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の製品下取りシステムが有する配送センタ端末が、前記配送依頼を受信し、受信した配送依頼に基づいて、前記ユーザが注文した製品、製品の配送先、下取り品を特定すると、前記配送センタ端末が設けられた配送センタにおいて、特定された製品が配送先へ配送されると共に、下取り品が回収されることを特徴とする製品下取り方法である。

【0008】請求項4に記載の発明は、前記配送センタ端末が設けられた配送センタにおいて、特定された製品が配送先へ配送されると共に、下取り品が回収されると、回収された下取り品が前記回収センタへ送られ、この回収センタにおいて、前記下取り品が部品に解体され、解体された部品のリストが、この回収センタに設けられた回収センタ端末に入力され、この回収センタ端末およびネットワークを介して前記部品が販売されることを特徴とする請求項3に記載の製品下取り方法である。

【0009】本発明は、ユーザへ新製品を販売する際に、旧製品の下取り制度を設けて、旧製品を回収し易くする。さらに、回収した旧製品に使用されていた部品を、自社製品へ再利用することに留まらず、他社へ販売することをも含めた効率的な回収システムを提供する。

【0010】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の一実施形態である、インターネットを介して新製品の販売および旧製品の下取り（回収）を行う販売・回収システムの構成図である。ユーザが使用するユーザ端末1と、回収センタに設けられた回収センタ端末2と、販売センタに設けられた販売センタ端末3と、配送センタに設けられた配送センタ端末4とが、インターネット5に接続されている。前記回収センタ、販売センタ、配送センタは、製品を製造販売する製造業者に帰属するものである。なお、本実施形態において販売される製品はパソコンであるものとする。

【0011】次に、本実施形態の動作を説明する。新製品を購入しようとするユーザは、まず、ユーザ端末1から、下取りに出す、現在自分が所有するパソコンの現況（下取り品データ）を、図2に示す、製品購入・下取り専用のWebサイトを見ながら入力する。このWebサイトは、回収センタ端末2内に格納されている。

【0012】ユーザは、ユーザ端末1から、上記Webサイトを見ながら、自分が所有するパソコンの型名・購入年月日・過去のトラブル状況といった項目に回答してゆく。回答すると、この回答がユーザ端末1からインターネット5を介して回収センタ端末2へ送られ、回収センタ端末2は、送られた回答から、概算の下取り額を見積もり、見積もった概算の下取り額をユーザ端末1へ返送する。ユーザ端末1は、返送された概算の下取り額を、このユーザ端末1が有するディスプレイに表示し、これにより、ユーザは、下取り品の概算査定価格を確認することができる。

【0013】次に、ユーザは、上記Webサイトに表示された、このWebサイトを運用する（すなわち、このWebサイトが格納された回収センタ端末2を保有する）製造業者（以下、「当社」という）の新製品から購入希望の機種を選択し、購入希望の新製品の価格と、下取り品の概算査定価格との差額（ユーザが支払うことになる金額の概算値）をチェックし、上記で選択した、購入希望の機種等の新製品購入のためのデータを、回収センタ端末2へ送信する。

【0014】次に、当社が運営する回収センタで、ユーザからの下取り品の査定状況が詳細にチェックされる。このチェックは、回収センタ内に設けられた回収センタ端末2が自動的に行っても良いし、回収センタ端末2のディスプレイに、送信された新製品購入のためのデータを表示させ、この表示を見ながら回収センタの担当者が行っても良い。このチェックの結果、下取り品の正確な査定価格が算出される。

【0015】次に、ユーザが購入しようとしている新製品の価格と、上記で算出された下取り品の正確な査定価格との差額、すなわちユーザが負担することになる正確な金額がユーザに通知され、この金額をユーザに負担し

て頂けるかどうかの問い合わせられる。すなわち、回収センタ端末2からユーザ端末1へ、上記のユーザが負担することになる正確な金額と、この金額をユーザが負担することを承諾するか否かを問い合わせるメッセージとが送信される。

【0016】ユーザは、上記の金額を負担することを承諾するのであれば、ユーザ端末1上で、上記の金額の支払方法（ネット上での決済か、着払い）を選択し、製品の配送先を指定した上で、承諾回答を回収センタ端末2へ送る。

【0017】回収センタでは、ユーザからの注文（承諾回答）が回収センタ端末2を介して確認され、この回収センタから、受注・納入状況を管理する販売センタへ、ユーザからの注文に応じた新製品が発注される。すなわち、回収センタ内の回収センタ端末2から、販売センタ内の販売センタ端末3へ、発注信号（この発注信号は、製品の配送先に関する情報を含む）、購入品データ、下取り品データが送信される。

【0018】販売センタ端末3は、上記の発注信号、購入品データ、下取り品データを受信すると、これらの発注信号、購入品データ、下取り品データに基づいた配送依頼を、ユーザ宅最寄りの配送センタ内の配送センタ端末3へ送信する。ユーザ宅最寄りの配送センタ内の配送センタ端末3が、上記の配送依頼を受信すると、この配送依頼が、配送センタ端末3のディスプレイ上に表示される。または、この配送依頼が、配送センタ端末3に接続されたプリンタ等によって紙上に印刷されるようにしても良い。いずれにしても、上記の配送依頼が、ユーザ宅最寄りの配送センタに通知されれば良い。

【0019】この通知に基づいて、配送センタの配送担当者は、配送依頼された新製品をユーザ宅に配送すると共に、下取り品をユーザから引き取り、引き取った下取り品を回収センタへ送る。回収センタでは、送られた下取り品が部品に解体され、他社に販売する部品と、販売しない部品とに配分され、他社に販売する部品については、回収センタ端末2内に格納された販売部品リストに

掲載される。この販売部品リストには、各部品の価格が掲載されるが、この部品価格には、マテリアルローディング（部品の購入、受入検査、管理等の諸業務費用を使用高比でオーダー別に配賦すること）その他ロイヤリティ等が上乗せされる。この販売部品リストは、インターネット5を介して他社へ公開され、他社への部品の販売が図られる。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、製造業者がユーザへ新製品を販売する際の、旧製品の下取り制度が設けられ、ユーザは、簡単に自分が下取りに出そうとしている旧製品の査定価格を知ることができ、かつ、新製品の配送と同時に旧製品が回収されるので、旧製品の回収が容易になり、環境への配慮を謳う政令を遵守することができ

【0021】また、回収した旧製品に使用されていた部品を、自社製品へ再利用することに留まらず、他社へ販売することも可能になるので、効率的な部品の再利用が可能になる。

【0022】さらに、ユーザは、所望の新製品を、下取り品の査定価格分だけ安く購入でき、製造業者（メーカー）は、当社製品のリピートという意味で顧客の囲い込みができ、また他社への部品販売という新事業も構築できるので、ユーザ・メーカー双方にとってのメリットが生じる。

【図面の簡単な説明】

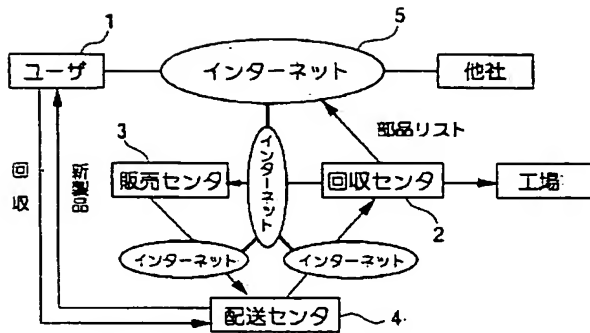
【図1】 本発明の一実施形態である、インターネットを介して新製品の販売および旧製品の下取り（回収）を行う販売・回収システムの構成図。

【図2】 製品購入・下取り専用のWebサイトがユーザ端末のディスプレイ上に表示された状態を示す図。

【符号の説明】

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 ユーザ端末 | 2 回収センタ端末 |
| 3 販売センタ端末 | 4 配送センタ端末 |
| 5 インターネット（ネットワーク） | |

【図1】



【図2】

Microsoft Internet Explorer

Q1. あなたのお持ちのパソコンの種類をチェックして下さい。
 ●98NX(NEC) OFMA(××社) ○パイロ(××社)

Q2. いつ頃購入されましたか？入力して下さい。
 年 月

Q3. 過去にどのようなトラブルがあったか具体的に記入願います。

→ 回答の結果、あなたのPCは〇〇万△△△円です。
 では、交換したい当社製品を下記から選択して下さい。

A. ☐

B. ☐

C. ☐